

平成 28 年第 2 回すみだタウンミーティング～すみだのイイところオシイところ～

日時：2 月 12 日（日）午後 2 時から 4 時

区長挨拶

30 秒スピーチ

- 1 すみだの循環バスについて、北斎通りをコースに含んでほしい。また、大型バスにしてほしい。
- 2 北斎美術館ができたのはいいが、周辺に休憩できる場所がない。
- 3 北斎美術館に行くバスはあるが、帰りが不便。錦糸町と北斎美術館、両国と北斎美術館をそれぞれ往復するバスがほしい。
- 4 区長が地域と密着した活動をしているのが良いところ。
- 5 錦糸町駅の北口・南口が通り抜けられないのが不便
- 6 八広地域プラザの場所がわかりづらい。総合体育館について、ハードは素晴らしいが、中でのアーチェリー講座が危険
- 7 ドラマのロケをしているのを最近よく見る。ロケ地として、聖地になるといいと思う。オシイところは案内板。海外の観光客にむけての多言語化がなされていない。
- 8 墨田は戦災等からの復興の過程で発展してきた町。区民には被災者に寄り添う気持ちを持っている。オシイところは、新住民に戦災の歴史等が伝わっていないところ。
- 9 言問団子から桜橋に行く途中にあるゴミ箱に、生活ごみがあふれている。なんとかしてほしい。
- 10 施設が充実しているところが良い。一方で、施設を利用した街づくりができていない。
- 11 にこにこ入浴券について、金曜日の指定があるため使いづらい。他区では毎日半額になるところもある。

対話の時間

区長：前半のプログラムでは北斎館についてのアクセス等についての御意見を多くいただきました。また周辺に休憩できる店舗などがないという御指摘もありました。周辺のコンビニ付近で立ったまま飲食する人も見られるという指摘もいただきました。美術館内にカフェ等を設けるべきだという考えもありましたが、地域に開かれた成長し続ける美術館として、図書館や講座室も設けているため、御理解いただきたいと思っています。現在来場者数が多いのは、開館直後であるということもあるので、今後も様々な取り組みをしていきたいと思っています。

1 墨田区総合体育館は区民の健康増進に役立っており、大変良い施設であるが、利用者として次の2点について不満を感じている。1点目が、体育館主催のアーチェリー教室においてである。指導員が1人に対し、教室が2つ実施されていることである。あらかじめスケジュールされている教室に加えて、初心者教室が実施されており、初心者教室ばかりに指導をしており、授業料を払っているのに指導がない。2点目が、個人練習の時間についてである。安全面を配慮する目的で指導員が一名ついてはいるが、携帯をいじっていたり、居眠りをしているだけで、安全指導を行っておらず、大変危険である。他区では死亡事故も起こっているため、至急対応してほしい。

区長：総合体育館は、トレーニング室やスタジオをはじめとした館内の運営や、清掃や警備、設備維持補修等の施設の維持管理について、PFIという方式で行っております。御指摘の内容については、PFI事業者にはアヒアヒ等を行い、改善すべきところは改善していきたいと考えています。安全面が確保されていない現状については、即刻改善したいと思っています。

2 地元（八広）について、周辺の住民の顔や名前は大体わかっているという古き良きご近所付き合いをしてきたが、現在はマンションがたくさんできており、どんな住民が住んでいるのかわからない。そのため、イベント等をして、どこまでが町会員なのかわからず、どのように対応していくべきか悩んでいる。学校選択制の影響で、地域ごとの子どもの偏りも生じている。

区長：現在墨田区には新しいマンションが増え、人口も増加している。若い世代の住民も増えてきています。その一方で、町会とマンション住民との関わりには様々な問題が生じている。区としては、集合住宅のデベロッパーや管理組合としっかりコミュニケーションをとることの必要性を感じています。学校選択制の影響については、教育委員会と連携し、どのように対応していくか考えていきたいと考えています。

3 町会役員をしているが、町会に加入しないもしくは町会費を支払わない人が多く、災害時等の対応について頭を悩ませている。

区長：先ほどのご意見と同様に、今区内各地で同じような問題が起きています。町会のみなさんの切実なご意見として受け止め、区としてどのような対応ができるか検討したいと考えています。

4 町会加入を区の条例で義務化することはできないか。また最近「都民ファースト」という発言が都知事から出ているが、「区民ファースト」という考え方を区でも実践してほしい。

い。

区長：町会への加入については、若い世代の方々にも参画意識を持ってもらえるよう区としても努力したいと考えています。また「区民ファースト」という考え方は、地域力日本一を目指す上でも大切な考え方です。墨田区には、若手経営者や企業、団体、スポーツ振興関係者等様々な主体があります。「オールすみだ」で力を合わせてやっていきたいと考えています。

5 学校関係ボランティアをしているものだが、23区内で墨田区は学力が低いという話を聞いたが、学力を向上させるためにどのような方法が考えられるか。

区長：教育委員会、総合教育会議等でも子どもの貧困対策や学力の向上について、話題になっています。子どもの貧困については、子ども食堂などの動きが現在様々なところで起こっています。また墨田区は23区内で比較すると学力が低く、どう改善していくか検討していくことが必要になってきています。区内には小学校25校、中学校10校があるが、それぞれの地域、学校現場で対策をしていきたいと思えます。家庭だけではなく、地域の力も活用しながら、子どもたちの居場所作りをし、安心して勉強に向かえる環境作りをしていきたいと考えています。

6 現在情報発信ツールが様々あるが、「町会に入るとこのような良いことがある」などを区にPRしてもらえるとありがたい。

区長：これまでは区報が主の情報発信ツールであり、区民のみなさんに広く情報が届いているとは必ずしも言えないところがあります。現在転入者には窓口で町会の案内を渡しているが、マンションの管理組合等とも連携し、広報を進めていく必要性を感じています。

7 町会の役員をしているものだが、転入者への案内については一定の効果がある。今後も効果が出るよう努力してほしい。群馬県榛名町の宿泊施設がなくなり、現在栃木にしか宿泊施設がない。地方に廃校になった校舎がいくつかあり、このような場所を宿泊施設として利用し、地方との交流の場とすることを提案したい。

区長：地方との交流については、小布施などに行っています。自然に触れる経験をしていくことはとても大切であり、今後の宿泊施設の整備については教育委員会と連携し、検討していきます。